

実践記録

学校/学年	小学校 / 6 年	
教科等：単元名	道徳：個人情報を守る	
キーワード	個人情報	
情報モラル指導 モデルカリキュ ラム表における 目標	分類	情報社会の倫理 法の理解と遵守 安全への知恵 情報セキュリティ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	d3 情報社会の危険から身を守るとともに、不適切な情報に対応できる。
	中目標項目番号 中目標項目内容	d2-2 不適切な情報に出会ったときは、大人に意見を求め、適切に対応する。
授業会場	パソコン教室 普通教室 特別教室〔 〕 その他〔 〕	
学習の目標	個人情報をインターネット上にのせることは、流出につながることを知り、安易に個人情報を扱わないようにしたり、大人の意見を求めたりするといった判断ができるようになる。	
使用教材	教材名	事例で学ぶネットモラル
	製作者	広島県教科用図書販売株式会社
	入手先(URL 等)	長野市情報モラルポータルサイト「事例で学ぶN e t モラル」

展開案

	学習活動	指導 評価
導 入	1 個人情報とは何か考える。 2 映像クリップを見る。	・身の回りには個人情報がたくさんあることを気付かせる。 ・画面に集中させる。
展 開	3 登場人物の気持ちを考える。 4 個人情報がどのようなときに流出するかを話し合う。	・もし自分だったらどうするか考えさせる。 ・個人情報がどのように流出するか、体験談をふまえて紹介する
お わ り	5 振返りをし、今後どのような行動をするかを考える。 6 ドリルをおこなう。	自分の個人情報をどうやったら守れるかを考えることができたか。

授業の成果

- ・個人情報がもれると様々な危険があったり、トラブルに巻き込まれたりするということが理解できた。ネット社会になり、便利さを求める際には必ず危険を考える必要があるということが分かった。授業後「個人情報」という言葉を頻繁に使うようになり、自分の個人情報を守ることや、他人（友だち）の個人情報を勝手にうばったりすることはいけないという意識が高まった。

指導のポイント・留意点

- ・ネットモラルについて自分は大丈夫と思っている児童が多い。
- ・身近なＣＭや体験談を話すことで、自分の身は自分で守るという意識をつける。